毎月１５日発行　VOL.789　２０２５年１月１５日発行

全肢連情報

ZENSHIREN BULLETIN

皆様からニュースのご提供を
心からお待ちしております

全肢連公式ホームページでも全肢連情報をご覧になれます
https://www.zenshiren.or.jp

全肢連　検索

□編集・発行
一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚３－４３－１１
福祉財団ビル５階
ＴＥＬ：０３－３９７１－３６６６
ＦＡＸ：０３－３９７１－６０７９
メール zenshiren@zenshiren.or.jp

令和７年　全国肢体不自由児者父母の会連合会　会長 新年挨拶

令和7年の新春を皆さまご健勝で迎えられましたこと お喜び申し上げます

清水誠一会長

昨年の全肢連全国大会は９月 14 日・15 日に「第 57 回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会・第 58 回近畿肢体不自由児者福祉大会奈良大会」を、奈良 100 年会館を会場に「住み慣れた地域で自分らしく生きる」～重層的支援体制　誰一人取り残さない社会をめざして～をテーマに障害当事者はじめ多数の会員参加の下、盛大に開催されましたことを、奈良県肢連をはじめ関係各位に御礼・感謝申し上げます。

特別講演の吉藤オリィ氏の分身ロボット OriHime は、愛嬌たっぷりのトモダチで身近な親しみさを感じさせられました。OriHime を活用した「分身ロボットカフェ」の構想で、「分身ロボット」が注文品を持ってきてくれるお店がありますが、身体に障害があっても遠隔で操作が可能で肢体に障害があっても就労の機会に繋がる吉藤氏の講演は感動させられた一時でした。

翌日の分科会でインクルーシブ防災が取り上げられましたが、昨年１月１日に発生した能登半島地震をはじめ地震被害や温暖化の影響から台風・大雨等洪水被害による災害が全国各地で多発しました。災害は待ってはくれません。今年も同様な災害が起こるかもしれません。

全肢連では、令和６年度の JKA 助成事業「地域指導者育成セミナー」を、日本防災士会より講師を招き、災害弱者の障害児者・医療的ケアのある児者が「いつでも・どこでも」安心安全に暮らすことのできる災害時個別避難計画作成を研修テーマとしました。現状は行政を中心に三位一体で作成する地区防災計画の作成は遅々として進まず、重度心身障害者の方々は地区防災計画の作成を待つことなく「私た

ち自身」が災害時に直ちに備える姿勢をもつことが重要です。地域父母の会で台風大雨等の災害はハザードマップで予測し個別に避難することが絶対です。

また「第７期障害福祉計画、第３期障害児福祉計画・障害福祉サービス等報酬」の改定では障害福祉サービスの支給で地域間の格差が依然として残りその解消は喫緊の課題と考えます。

令和７年度は、全肢連の通常事業の継続と公益財団法人の助成事業（助成の可否は４月に決定）において、全肢連の重要課題である「グループホームの設立に係る仕組みや補助制度を学ぶ研修会」と「補装具(車いす)と座位保持装置のあり方、更新時期と複数所有の是非」等に関する研修会を計画しています。

近年は、障害福祉の人材不足で生活介護事業所や重度の障害児者（医療的ケア含む）が必要とする短期入所は全国的に不足し「レスパイト入所や急用の時に利用できない」現象が生じています。その解消策は地域事情を加味して国をはじめとした自治体に対する方策を早急に検討し要請活動につなげてまいります。

コカ・コーラボトラー各社からの助成事業である「さわやかレクレーション」は、父母の会の繋がりに視点をあて地域交流を深める事業として更に充実させてまいります。

終わりに、コカ・コーラボトラーズ各社のご協力・ご支援による自動販売機の設置は全肢連・都道府県肢連父母の会活動の主となる原資となります。是非「自動販売機設置促進」にお力をお貸し願います。

各都道府県肢連、地域父母の会、会員・関係者の皆さまのご健勝と更なるご発展・ご活躍されますことを祈念し新年にあたってのご挨拶といたします。

インフルエンザにご注意ください！

（厚生労働省ホームページより）

今シーズンのインフルエンザの流行に備え、「今シーズンのインフルエンザ総合対策」を取りまとめ、国や地方自治体がインフルエンザ対策に取り組むとともに、広く国民の皆様にインフルエンザに関する情報を提供し、適切な対応を呼びかけることといたしました。

現在国内で流行している季節性インフルエンザのウイルスは、Ａ（H1N1）亜型、Ａ（H3N2）亜型とＢ型（ビクトリア系統）です。流行しやすい年齢層は、ウイルスの型によって多少異なりますが、今年も、全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。

国民の皆様におかれましては、以下を参考にして、家庭や職場などにおいて、適切に対応していただくようお願いいたします。

〇感染防止について

基本的な感染対策

インフルエンザをはじめとする感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳（せき）エチケット」などが有効です。

特に、高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するリスクが高まります。高齢者と会ったり、通院や大人数で集まったりするときは、マスクの着用を含めた感染症対策へのご協力をお願いします。

〇マスクの着用が効果的な場面

高齢者など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、医療機関を受診する時や、高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などへ訪問する時等は、マスクの着用を推奨します。

そのほか、インフルエンザの流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。

〇医療機関や高齢者施設などの対応

高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などの従事者の方は、勤務中のマスクの着用を推奨しています。

[留意事項]

子どものマスクの着用については、すこやかな発育・発達の妨げとならないよう配慮することが重要です。

なお、感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得ます。ただし、そのような場合においても、子どものマスク着用については、健康面などへの影響も懸念されており、引き続き、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意をお願いします。

マスクの着用は個人の判断に委ねられるものではありますが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容されます。ただし、障害特性等により、マスク等の着用が困難な場合には、個別の事情に鑑み、差別等が生じないよう十分配慮をお願いします。

＜症状がある場合＞

咳や痰などの症状がある場合は、他の人への感染を防ぐため、「マスクの着用を含む咳エチケット」を心がけることが重要です。

咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて１m以上離れましょう。

鼻水・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。

咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

※ 咳エチケット用のマスクは、薬局やコンビニエンスストア等で市販されている不織布（ふしょくふ）製マスクの使用が推奨されます。

※ マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用しましょう。

※ 咳エチケットを心がけることは、周囲にウイルスをまき散らさない効果があるだけでなく、周りの人を不快にさせないためのマナーにもなります。

障害児支援関係の令和７年度予算案の概要

（こども家庭庁支援局支援課より）

令和７年度予算案における主な事項（障害児支援関係）

令和７年度予算案　5,204億円の内数＋0.7億円（デジタル庁一括計上）

令和６年度補正予算額　98億円

（１）良質な障害児支援の確保　4,925億円

- 障害児が地域や住み慣れた場所で暮らせるようにするために必要な障害児支援に係る経費（児童福祉法に基づく入所や通所に係る給付等）を確保する。

［令和６年度補正予算］

○　令和６年人事院勧告を踏まえた障害児施設措置費の人件費の改定　６億円

- 障害児入所施設等に従事する職員の人件費について、人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定の内容に準じた障害児施設措置費の引上げ等を行う。

（２）地域における障害児支援体制の強化とインクルージョンの推進 【拡充】　207億円の内数

- 加速化プランに基づき、児童発達支援センターの機能を強化し、地域の障害児通所支援事業所の全体の質の底上げに向けた取組、地域のこども達の集まる様々な場におけるインクルージョンの推進のための取組、地域の障害児の発達支援の入口としての相談機能等の支援及び乳幼児健診等の機会を通じた早期の発達支援の取組を実施する。
- 加速化プランに基づき、児童発達支援センターを中核とした地域の障害児支援体制の強化等の取組が全国各地域で進むよう、国や都道府県等による状況把握や助言等の広域的支援を進めることにより、地域の支援体制の整備を促進する。

（３）専門的支援が必要な障害児への支援の強化【拡充】　207億円の内数【再掲】＋0.7億円（デジタル庁一括計上）

- 加速化プランに基づき、医療的ケア児等への支援の充実を図るため、「医療的ケア児支援センター」の設置や協議の場の設置、医療的ケア児等コーディネーターの配置を推進するとともに、関係機関等の連携促進、関係情報の集約・発信、支援者の養成、日中の居場所作り、活動の支援、医療的ケア児等を一時的に預かる環境整備等を総合的に実施する。また、「医療的ケア児等支援システム」について、運用・保守を行う。
- 加速化プランに基づき、聴覚障害児への支援の中核機能の整備を図るため、保健･医療･福祉･教育の連携強化のための協議会の設置や保護者に対する相談支援、人工内耳・補聴器・手話の情報等の適切な情報提供、聴覚障害児の通う学校等への巡回支援、障害福祉サービス事業所等への研修の実施などへの支援を行う。

1

令和７年度予算案における主な事項（障害児支援関係）

（４）早期発見・早期支援等の強化【新規】 207億円の内数【再掲】

- 加速化プランに基づき、地域の保健、子育て、教育、福祉等の関係者と医師、心理職、ソーシャルワーカー等が連携して、様々な機会を通じたこどもの発達相談や発達支援、家族支援を行い、早期から切れ目なく必要な支援につなげる。

（５）障害児支援人材確保・職場環境改善等にむけた総合対策

【令和６年度補正予算】

○ **障害児支援人材確保・職場環境改善等事業** 84億円

- 障害児支援現場における生産性を向上し、業務効率化や職場環境の改善等を図ることによる職員の離職の防止・職場定着を推進する。

○ **地域障害児支援体制充実のためのＩＣＴ化推進事業** 5億円

- 障害児支援分野における業務効率化及び職員の業務負担軽減を推進しながら、安全・安心な障害福祉サービスを提供できるよう、障害児支援事業所等におけるICTの導入を支援する。

（６）ICTを活用した発達支援の推進

【令和６年度補正予算】

○ **発達障害児支援事業所等におけるICTを活用した発達支援推進モデル事業** 75百万円

- 加速化プランに基づき、障害の特性や状態等に関わらず身近な地域でニーズに応じた支援を受けられる環境整備や、支援の質の向上を図る等の観点から、ICTを活用した発達支援の取組について、地域における先駆的な取組を後押しするとともに、全国での活用に向けた検証を実施する。

（７）その他の施策

【令和６年度補正予算】

○ **熱中症防止対策及び性被害防止対策の実施** 2億円

- 障害児支援事業所等において、こどもの安全を守る観点から、熱中症防止に資する新たな壁掛けエアコン等の導入、こどもの性被害防止に資する設備・備品の購入等を支援する。

○ **被災地域における障害福祉サービス等の利用者負担減免の特別措置** 3百万円

- 令和６年能登半島地震における災害救助法適用地域の児童福祉法における障害福祉サービス等の利用者に対し、市町村等が利用者負担額を減免した場合は、特例として、この利用者負担相当額について、国がその全額を財政支援する。

2

詳しくは、こども家庭庁ホームページをご覧ください。
https://www.cfa.go.jp/policies/shougaijishien

読書バリアフリー法、施策推進へ 14 の指標

（２０２４年１２月２３日　福祉新聞より）

読書バリアフリー法（視覚障害者等の読書環境整備推進法）に基づく国の第２期基本計画案について、１６日に開かれた文部科学省と厚生労働省の関係者協議会（座長＝中野泰志慶應義塾大教授）で議論した。２期計画の期間は２０２５～２９年度で、新たに取り組みの進展状況を確認するため１４の指標を設け、施策の着実な推進につなげる。年明けにパブリックコメントを行い、２５年３月に正式に決まる。

１９年６月に成立した同法は視覚障害、発達障害、肢体不自由などにより視覚による表現の認識が難しい人を含め、国民が等しく読書を享受できる社会を目指す。基本計画はその実現に向けた総合的な施策を定める。

１４の指標は基本計画における基本的施策に沿って設定する。例えば、図書館の利用体制整備の施策に対しては「公立図書館などにおけるアクセシブルな書籍（点字図書、拡大図書など）の冊数」「バリアフリー関係設備の整備状況」などを確認する。アクセシブルな電子書籍（音声読み上げ対応の電子書籍、オーディオブックなど）の販売促進の施策では「市場に流通するアクセシブルな電子書籍の新規発行数、登録数」を設ける。１４の指標について定期的な調査や、必要に応じて追加の調査を実施するなどして状況を把握し、毎年開かれる関係者会議に報告される。

駅バリアフリーで車両との隙間も目標設定　国交省検討会が次期整備案

（２０２４年１２月２２日　福祉新聞より）

国土交通省は１０日、「鉄軌道のバリアフリー化の整備推進に関する検討会」を開き、バリアフリー法に基づく「移動等円滑化促進基本方針」について２０２６年度以降の次期整備目標案を示した。１日平均利用者が３０００人以上などの駅について目標項目に「障害者対応型券売機」「拡幅改札口」を追加し、原則１００％の設置を目指す。また「プラットホームと車両の段差・隙間を縮小している番線数」（段差３センチ、隙間７センチ）も加え、目標値を定める。

バリアフリー法や関連施策の全体については、国交省の別の検討会が２５年５月の取りまとめに向けて議論を進めている。同検討会は鉄軌道に特化して議論し、内容は全体の取りまとめに生かされる。

整備目標案ではほかに「段差解消」「転落防止設備」「視覚障害者誘導用ブロック」などについては、今期と同様、原則１００％の設置を目指すとした。今期の目標値が３０００番線に設置の「ホームドア」、約７０％が目標値の「鉄道車両のバリアフリー化」の次期目標値は今後決める。

今後の方向性として、地方などでは利用者が少なく未整備な駅も多いため、地域全体でバリアフリー化されたルートを確保する必要性も指摘。障害者から不安の声が寄せられている無人駅について必要な対応を検証することや、案内表示や情報提供を充実させることなども盛り込まれた。

次回会合は２５年２月ごろ開かれ、最終取りまとめを行う予定。

「第４回あーと展覧会 2024」活動が岐阜新聞に掲載

第４回あーと展覧会２０２４の賞の一つである「最多応募賞」は、岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校が受賞しました。

応募総数７８点です。

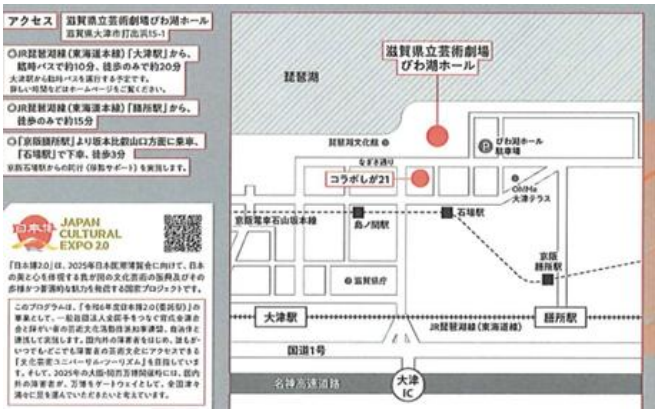
１２月１９日に、同校の吉田校長先生が、表彰式を準備してくださり、全肢連吉原常務理事と岐阜県肢連日比会長が学校を訪れ、代表の生徒に賞状と７８点の全作品がプリントされた特大パネルを贈呈しました。

その模様が、１２月２９日発行の岐阜新聞に掲載されました。
（https://www.gifu-np.co.jp/articles/-/484946）

表彰の様子

障害者の文化芸術国際フェスティバルグランドオープニング 湖×海（うみとうみ）ーほほえむちからー

全肢連が参画している「障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク」の活動の一環で「2025 年大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト」により、「ユニバーサルツーリズム」及び「合理的配慮の提供」をさらに推し進めるとともに、アジア圏を中心とする海外へと活動を広げていくことを目的に「障害者の文化芸術国際フェスティバルグランドオープニング」が２月７日～９日にびわ湖ホール（滋賀県大津市）にて開催されます。



・国際フォーラム
・舞台芸術の発表
・糸賀一雄記念賞第 23 回音楽祭

３つの構成で、台湾やオーストラリアからのゲストも交えて開催します！

その中で、全肢連では「文化芸術における合理的配慮提供マッチング事業」にエントリーし、企画が採用されて、「第４回あーと展覧会２０２４」の入賞上位作品 11 点を展示することになりました。

〇展示作品（11 点）

最優秀賞　絵画　秋田犬だー！　福原　毅士さん
金賞　　絵画　ドキドキした　エアリアル体験　　田中　琉偉さん
会長賞　　木工　はばたき～成長～　金平　悠生さん
会長賞　　書道　挑　戦　　深町　都愛さん
コカ・コーラ賞　絵画　わたしのふるさと　遠藤　　智子さん
コカ・コーラ賞　コンピュータアート　イニシャルかくれんぼ　弓氣田　康さん
ふわりぃ賞　絵画　岡山城　正木　孝壮さん
ふわりぃ賞　絵画　アジサイの花を感じよう　斎藤　玲音さん
銀賞　　絵画　気持ちいいな　大和　晃己さん
銀賞　　コンピュータアート　オーロラを聴いて　加藤　海周さん
銀賞　　写真　不思議な虹　　日向野　福々さん

2025年２月８日（土）～9日（日）
滋賀県立芸術劇場　びわ湖ホール　中ホール　ホワイエ
（滋賀県大津市打出浜 15-1）
ＪＲ大津駅より臨時バスを運行予定

お近くの方は、是非ご来場ください。

Web　　チラシ

Lee 富鉄税理士事務所主催　クリスマスランチパーティー

令和６年 12 月 21 日（土）に、神奈川県横浜市の横浜インターコンチネンタルホテル１階『オーシャンテラス』において、Lee 富鉄税理士事務所主催によるクリスマスランチパーティーが開催されました。演奏会や抽選会もあり、参加した会員の方々は、楽しい一時を過ごされました。

訃報

令和６年１２月３１日に、奈良県肢体不自由児者父母の会連合会 前会長（現相談役）の松本倫子氏（享年８２歳）がご逝去されました。

松本氏は、平成１８年～３０年まで、奈良県肢連の会長を務められ、肢体不自由児者とその家族のために大変ご尽力されました。

令和７年１月４日に通夜、５日には告別式が執り行われました。告別式では、参列者を代表して、奈良県肢連 前田妙子会長が、弔辞にて故人のご冥福とこれまでの活動に感謝の意を述べられました。

弔辞を述べられる前田会長

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

事務局から

〇第１３回和やかレクリエーション
　令和７年１月３１日（金）　サンシャイン水族館
〇全国特別支援教育推進連盟第４回理事会
　令和７年２月７日（金）　福祉財団ビル７階　大会議室